

公益財団法人日仏会館 事業報告
2022年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

2022年度は役員の改選期に当たり、6月の評議員会において、副理事長が1名交代となった他、昨年の評議員会で目標と定めた、理事・評議員の女性比率30%への引き上げが達成された。また、中島理事長が再任され、2期目を始動することとなった。コロナウイルスは、足許では2023年5月から感染症法上の位置付けが5類となり、社会全体としてのコロナとの向き合い方に本格的な変化が出て来たところではあるが、2022年度中のイベントについては、前年同様コロナ禍の影響を大きく受けることとなった。一方、コロナ禍という困難な状況下で始めたオンラインによるイベント開催は、その運営方法についてこの間相当な知見を深めることができ、対面とオンラインの両面を活かした、いわゆるハイブリッドでの開催にも対応できることとなった。昨年度開催されたプルーストに関するシンポジウムは、日仏会館が主催したオンライン・イベントとして最大規模のものとなったが、今年度6月にも、ボードレールに関する大規模なシンポジウムを、2日間に渡ってハイブリッド形式で開催することができた。また、対面での開催が必須であるフランス語コンクールは、今年度も感染拡大防止の観点から開催を中止せざるを得なくなったが、フランス語教育顕彰継続の観点から、フランス語教育に熱心な高校における校内コンクール優秀者に対し、「日仏会館賞」を授与することとなり、賛同を得た7校のフランス語優秀者に同賞を授賞することができた。

日仏会館の財政基盤は、会費収入を始め、有価証券の運用や、不動産の賃貸収入に負っているが、コロナ禍による、ホール・会議室等のレンタル休止による減収は依然大きく、早期の改善は見込めない。但しコロナ5類移行を受けて、2023年5月より、レンタルスペース貸出は全面再開した。また、比重の大きい有価証券の利金収入は、昨今の円安や外国債券の金利上昇によるプラスの効果はあるものの、未だ安定的な収入と言える状況には程遠い。一方、昨年度の新規テナント入居は収益改善に寄与しており、今後も立地や集客力等の検討を含め、建物の有効活用を軸に財政基盤充実を図っていく。以下、2022年度の事業実施状況について重点項目を説明し、次いで具体的事業内容につき述べることとする。

－重点項目－

1. 会館事業の充実

イベント開催方法の幅は広がり、大規模なハイブリッド開催も実現することができた。対面イベントの開催も徐々に再開しているが、会館ホールに直接足を運ぶホール参加数はコロナ前の水準に戻っていない。今後とも各イベントに適した開催方法等の検討を通じてイベントホール参加の増加を図っていきたい。

2. 日仏の関連諸団体との共同・支援事業

コロナ禍の影響により、地方日仏協会との交流旅行や、新年会等のイベントは今年度も中止とせざるを得なかったが、関連団体とのネットワーク維持並びに新たな関係性の構築が肝要と認識している。イベントの共催や広報協力を通じた協力関係を広げていきたい。

3. 広報の充実

イベント告知冊子を「Prochainement」と改名し紙面を刷新したが、これに合わせる形でメールニュースを刷新した。定期刊行物の『日仏文化』については、研究者を含む多くの方々の利便性を考慮し、更に進んだ電子化を進めている。ウェブサイトや会報「ヌーヴェル」の充実を図ると共に、SNSを活用した広報ネットワークの拡充に取り組んでいる。

4. 事務局体制の強化

欠員となっていた総務担当職員1名を新規採用することができた。引き続き各職員のスキル向上を図る予定である。

5. 個人・法人賛助会員増加策の検討

財政的基盤の強化には、個人・法人賛助会員の増強並びに寄附金の増強が不可欠である。個人・法人賛助会員ともに漸減傾向が続いており、これに歯止めを掛けるべく、会員に魅力のあるイベント・セミナーの開催などを模索している。

6. 創立百周年記念事業準備委員会の始動

常務役員を中心として、日仏会館・フランス国立日本研究所や各分野の専門家とも協力をしながら準備会合を重ねてきた。2023年度から2ヶ年に渡る記念事業として、『日仏文化』百周年記念号の他、主要となる記念イベントの骨格が出来上がった。新年度より順次開催する見込み。

－具体的事業内容－

1. 公益事業 1：日仏両国の文化・学術研究に関する交流促進及び講演会・シンポジウム・出版物等を通じた研究成果の普及事業

<学術・文化事業関連>

(1) シンポジウム・文化講座

① 日仏シンポジウム

- 1) 「ボードレール—詩と芸術—芸術照応の魅惑 5」(6月18日(土)、19日(日)ハイブリッド)

講師：アントワヌ・コンパニオン (アカデミー・フランセーズ/コレージュ・ド・フランス名誉教授)、鈴木和彦 (明治学院大学)、吉村和明 (上智大学名誉教授)、岩切正一郎 (国際基督教大学)、鈴木啓二 (東京大学名誉教授)、三浦 篤 (東京大学)、アンドレア・スケリーノ (ローマ第三大学)、平野啓一郎 (作家)、中島淑恵 (富山大学)、松浦寿輝 (東京大学名誉教授)、オーレリア・セルヴォーニ (ソルボンヌ大学)、畠山達 (明治学院大学)、吉田典子 (神戸大学名誉教授)、富成信 (群馬県立女子大学)、ジャン＝リュック・ステンメツ (ナント大学名誉教授)、アンリ・セッピ (新ソルボンヌ大学)、中地義和 (東京大学名誉教授)、海老根龍介 (白百合女子大学)、アンドレ・ギュイヨー (ソルボンヌ大学名誉教授)

司会：中地義和、海老根龍介、アンリ・セッピ、吉村和明、三浦篤、畠山達、鈴木啓二、アントワヌ・コンパニオン

開会の辞：中地義和 ((公財) 日仏会館副理事長・シンポジウム組織責任者)、中島厚志 ((公財) 日仏会館理事長)

閉会の辞：ベルナル・トマン (日仏会館・フランス国立日本研究所所長)、鈴木啓二 (シンポジウム学術責任者)

*助成：(公財) 石橋財団

*協力：日仏会館・フランス国立日本研究所

(18日ホール参加 25名、オンライン参加 414名 / 19日ホール参加 26名、オンライン参加 331名)

- 2) フランス国立日本研究所主催の日仏シンポジウム企画については後出の「協力」に記載

② 日仏文化講座

- 1) 「これからの民主主義を考える」(10月8日(土)ハイブリッド)

討論者：宇野重規 (東京大学)、重田園江 (明治大学)、片岡大右 (評論家)、川出良枝 (東京大学)、吉田 徹 (同志社大学)

司会：山元 一 ((公財) 日仏会館、慶應義塾大学)

(ホール参加 50名、オンライン参加 87名)

- 2) 「中世・ルネサンスのテキストとイメージ、写本から揺籃期本へ」(2023年2月25日(土)ハイブリッド)

報告者：高木麻紀子 (東京藝術大学)、高名康文 (成城大学)、高宮利行 (慶應大学名誉教授)、宮下志朗 (東京大学名誉教授)

司会：篠田勝英 (白百合女子大学名誉教授)

(ホール参加 40名、オンライン参加 76名)

③ 日仏科学講座

「新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) のもたらしたもの」(2月4日(土)オンライン)

講師：石井健 (東京大学医科学研究所)、松田晋哉 (産業医科大学)、庄野マリ (パリ在住産婦人科医師)、上田恵子 (ECRIN)

司会：丸山達也 (東京大学)

(オンライン参加 23名)

(2) 講演会

日仏文化講演シリーズ（月例講演会）

- 1) 「日本の心霊世界—« Les dernières chamanes du Japon » 出版にあたって」（4月13日（水）オンライン）
講師：ミュリエル・ジョリヴェ（上智大学名誉教授）
司会：渡辺真美（（公財）日仏会館）
（オンライン参加 61名）
- 2) 憲法講演会「普遍的人権と日本の人権—国際人権法の観点から」（5月27日（金）オンライン）
講師：申惠丰（青山学院大学）
司会：山元 一（慶應義塾大学）
（オンライン参加 22名）
- 3) 「渋沢栄一と朝鮮半島」（7月11日（月）オンライン）
講師：上鎮目雅人（早稲田大学）、金明洙（韓国・啓明大学校）
司会：矢後和彦（早稲田大学）
（オンライン参加 31名）
- 4) 「若手研究者セミナー」（7月23日（土）オンライン）
講師：見瀬 悠（大阪大学）、平賀裕貴（立教大学）、田中美里（東京理科大学）
司会：伊達聖伸（東京大学）
（オンライン参加 34名）
- 5) 加藤周一記念講演会「透谷と一葉—もう一つの〈近代〉」（10月12日（水））
講師：松浦寿輝（作家・東京大学名誉教授）
司会：中地義和（東京大学名誉教授）
（ホール参加 24名）
- 6) 「哲学者ミシェル・セール 百科全書的な旅—ドキュメンタリー映画と講演」（11月2日（水））
講師：縣由衣子（慶應義塾大学）
司会：コリーヌ・カンタン（フランス著作権事務所）
*協力：ミシェル・セール財団
（ホール参加 50名）
- 7) 「ジャン・プルーヴェと私—フランスで活躍した日本人建築家 早間玲子の経験」（11月21日（月））
講師：早間玲子（建築家）
司会：中島智章（建築史家、工学院大学）
*協力：みすず書房
（ホール参加 50名）
- 8) 「総合芸術としてのパリ・オペラ座—建築、美術、オペラ、バレエ、文学の交差—」（11月26日（土））
報告者：三浦 篤（東京大学）、野平一郎（東京音楽大学）、寺田寅彦（東京大学）、芳賀直子（舞踊史研究者、大正大学）、中島智章（工学院大学）、賀川恭子（アーティゾン美術館）、田所夏子（アーティゾン美術館）
*共催：（公財）石橋財団アーティゾン美術館
（ホール参加 60名）

「総合芸術としてのパリ・オペラ座 ミニ・オペラコンサート」(11月26日(土))
演奏者：浜田理恵(ソプラノ)、西山詩苑(テノール)、三ツ石潤司(ピアノ)
司会：野平一郎(東京音楽大学)
*共催：(公財)石橋財団アーティゾン美術館
(ホール参加 60名)

9) 「紙芝居 フランスで関心を呼ぶ日本生まれの“魔法の箱”」(12月7日(水))
講師：つのゆいこ(紙芝居作家)
司会：丸山有美(Atelier Orphée 代表)
(ホール参加 22名)

10) 「「カレー・ジャングル (la jungle de Calais)」をどう振り返るかー映画『ヒューマン・フロー 大地漂流』のなかのフランス」(12月12日(月))
講師：菅野賢治(東京理科大学)
司会：平野千果子(武蔵大学)
(501室参加 7名)

11) 「フランスにおける狂言の魅力ーたった15分に詰められたエネルギー。その一瞬とは？」(2023年1月18日(水))
講師：小笠原由禰(能楽師狂言方泉流)
司会：藤原邦一(藤原プロデュース代表)
(ホール参加 74名)

12) 「ウクライナ戦争を考えるー二つの西洋とその外」(2023年2月21日(火))
講師：西谷 修(東京外国語大学名誉教授)
司会：平野千果子(武蔵大学)
(ホール参加 29名)

13) 【延期】若手交流会「日仏香りと文化ーフレグランスとワインを通して」(時期未定)
講師：原 美智子(長谷川香料(株)総合研究所フレグランス研究所)

(3) 教養講座等

① 日仏会館教養講座

「ブルデュー『ディスタンクシオン』を読むー趣味と階級の社会学」(2023年1月24日、31日、2月7日、14日(各火)オンライン)
講師：石井洋二郎(中部大学)
(オンライン参加 27名)

② 食文化講座

開催なし
新型コロナウイルス感染症のためしばらく中断

③ ビジネス講座

「日仏経済の共通点・相違点と参考となるフランス的視点」(12月21日(水))
講師：中島厚志((公財)日仏会館理事長)
司会：中江剛介((公財)日仏会館理事)
(ホール参加 35名)

(4) コンサート・上映

① 映像と講演

- 1) 「ここだけのフランス映画 III 『誰かの幸せ』」(4月27日(水) オンライン)
 講師：杉原賢彦(映画批評/目白大学)
 司会：渡辺真美((公財)日仏会館副理事長)
 *共同主催：TMF 日仏メディア交流協会
 *協力：セテラ・インターナショナル
 (オンライン参加 50名)

- 2) 「ここだけのフランス映画 IV 『私は確信する』」(11月15日(火))
 講師：杉原賢彦(映画批評/目白大学)
 司会：渡辺真美((公財)日仏会館副理事長)
 *共同主催：TMF 日仏メディア交流協会
 *協力：セテラ・インターナショナル
 (ホール参加 24名)

- 3) 「ここだけのフランス映画 V 『ムード・インディゴ/うたかたの日々』」(2月10日(金))
 講師：杉原賢彦(映画批評/目白大学)
 司会：渡辺真美((公財)日仏会館副理事長)
 *共同主催：TMF 日仏メディア交流協会
 *協力：ハピネットファントム・スタジオ
 (ホール参加 25名)

② フランス音楽の夕べ

- 「ボードレール・コンサート」(6月2日(木))
 演奏：東 誠三(ピアノ)、駒井ゆり子(ソプラノ)、三ツ石潤司(ピアノ)
 解説：鈴木啓二(東京大学名誉教授)、野平一郎(東京音楽大学)
 (日仏シンポジウム「ボードレール—詩と芸術—芸術照応の魅惑 5」の一環)
 *共同主催：日仏音楽協会
 *助成：(公財)石橋財団
 (ホール参加 58名)

③ レクチャーコンサート

- 「スペクトル楽派とその周辺—1970年代からのフランス音楽」(5月11日(水))
 講師：野平一郎(東京音楽大学)
 演奏：大石将紀(サクソフォン)、藤原亜美(ピアノ)
 (ホール参加 55名)

(5) ギャラリー展示 開催無し

<出版・広報関連>

- (1) 会誌『日仏文化』
第92号を発行

- (2) ニュースレター「NOUVELLES」
第167号、168号、169号を発行

- (3) イベント案内
6-7-9月号、10-11月号、12-1月号、2-3月号、2023年4-5月号発行

- (4) 日仏会館メールニュース
 会員 570 件、日仏関連学会 103 件、日仏協会 29 件、関係者・送付希望者 519 件
- (5) インターネットサイトの運営
- ① 日仏会館ウェブサイト (<https://mfjtokyo.or.jp/>) (更新随時)
 - ② (公財) 日仏会館 YouTube ページ 動画公開中 22 本
 - ③ Twitter (<https://twitter.com/mfjtokyo>) フォロワー906 人
 - ④ Peatix 日仏会館イベント告知ページ (<https://fmfj.peatix.com/>) フォロワー1853 人
- (6) 日仏会館ライブラリー
 創刊準備中
- (7) イベント関連出版
- 1) シンポジウム論集『プルーストと美術』吉川一義編 水声社 2022 年 4 月発行
 - 2) シンポジウム論集『作家たちのフランス革命』三浦信孝編著 白水社 2022 年 7 月発行

2. 公益事業 2：日仏両国の文化・学術研究に関する作品の公募、表彰及びフランス語コンクールを通じた、文化・学術の振興を目的とする事業

<学術・文化事業関連>

(1) 第 39 回渋沢・クローデル賞

【日本側】

本賞：船岡美穂子（東京芸術大学非常勤講師）

『ジャン＝シメオン・シャルダンの芸術—啓蒙の時代における「自然」と「真実」—』
 （中央公論美術出版、2022 年）

奨励賞：金山 準（北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授）

『プルドン 反「絶対」の探求』（岩波書店、2022 年）

表彰式ならびに受賞記念講演会は 7 月 1 日（金）ホールにて開催

講演：船岡美穂子（東京芸術大学）、金山 準（北海道大学）

挨拶：中島厚志（(公財) 日仏会館理事長）、老川祥一（読売新聞グループ本社代表取締役会長・主筆代理 国際担当）、ベルナール・トマン（日仏会館・フランス国立日本研究所所長）

審査経過報告：中地義和（渋沢・クローデル賞委員会委員長、(公財) 日仏会館副理事長）

*日本側主催：日仏会館、読売新聞社

*協賛：(公財) 渋沢栄一記念財団、(学) 帝京大学

*後援：在日フランス大使館

(ホール参加 40 名)

【フランス側】10 月 5 日（水）に審査委員会開催

受賞者：ダミアン・プラダン（ボルドー・モンテーニュ大学准教授）

「大規模倭寇の時代—変遷する東シナ海の流通—1350 年から 1419 年を中心に」(博士論文)

Damien PELADAN (maitre de conférences à l'Université Bordeaux Montaigne)

« Le temps de la grande piraterie japonaise. Transformation des circulations maritimes en mer de Chine orientale, 1350-1419 » (thèse)

フランス側授賞式は 11 月 15 日（火）に在仏日本大使公邸で開催

*フランス側主催：(公財) 日仏会館、フランス国立社会科学高等研究院・日仏財団

*協力：日仏会館・フランス国立日本研究所

*協賛：(公財) 渋沢栄一記念財団、(学) 帝京大学、読売新聞社

*後援：在仏日本大使館

(2) フランス語コンクール

新型コロナウイルス感染症のため開催なし

(3) 日仏会館賞

中止になったフランス語コンクールに代わり、フランス語教育を行なっている高校の校内コンクールで選ばれた優秀者、各校1名に「日仏会館賞」を授与

- ・濱野美妃 (埼玉県立伊奈学園総合高等学校 3年)
- ・高橋日和 (埼玉県立和光国際高等学校 3年)
- ・高木健介 (早稲田大学高等学院 3年)
- ・長谷川夏海 (神奈川県立神奈川総合高等学校 2年)
- ・岡崎由依 (アサンプション国際中学校高等学校 高等学校 2年)
- ・櫻井美結 (カリタス女子高等学校 3年)
- ・津田耀資 (暁星高等学校 3年) (従来暁星高校に授与している日仏会館賞として)

3. 公益事業3: 日仏両国の文化・学術研究、教育に従事する団体等との共同事業及び同団体への研究推進を支援する事業

<学術・文化事業関連>

(1) 日仏春秋講座

「人新世の脱構築」(7月6日(水) オンライン)

講師: フィリップ・デスコラ (コレージュ・ド・フランス)、山極壽一 (総合地球環境学研究所所長)

司会: 森山 工 (東京大学)

*共同主催: (公財) 日仏会館、日仏会館・フランス国立日本研究所

*協力: 地球システム・倫理学会

(オンライン参加 271名)

(2) 恵比寿映像祭共催シンポジウム

「テクノロジー?—日本とフランスのメディア・アート—現代にいたるメディア・アートの変容について」(2月16日(木))

講師: 畠中実 (NTT インターコミュニケーション・センター [ICC])、サンソン・シルヴァン (在日フランス大使館)

司会: 藤原邦一 ((公財) 日仏会館)、藤村里美 (東京都写真美術館)

*共同主催: 恵比寿映像祭[東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団/東京都写真美術館/日本経済新聞社]

*共催: サッポロビール不動産開発 (株)

(ホール参加 47名)

恵比寿映像祭 2023 「テクノロジー?」(2月3日(金)~19日(日) 来場者総数 64178名)

(3) 日仏学術研究助成

【2021年度から延期された助成】

日仏学者交換

- ・ 日仏女性研究学会: クリスティヌ・バール (アンジェ大学) 招聘「女性と表象—服飾、モード、ジェンダー」
成果報告のシンポジウムは「共催支援事業」参照

- ・ 渡邊浩司グループ: フィリップ・ヴァルテール (グルノーブル第三大学名誉教授) 招聘「女神がとる異類の身体—メリュジーヌとトヨタマヒメ」
成果報告のシンポジウムは「共催支援事業」参照

- ・ 三浦信孝グループ: フロラン・ゲナール (高等師範学校) 招聘「民主主義は普遍的政治モ

デルか？一日仏の政治哲学者の討議」
成果報告のシンポジウムは「共催支援事業」参照

【2022 年度助成】

① 日仏学術研究助成

- ・ 日仏哲学会「ジャン＝リュック・ナンシーの哲学——共同体の思想、世界の意味」
成果報告のシンポジウムは「共催支援事業」参照
- ・ 日仏社会学会「コロナ禍と学生生活に関する社会学的研究一日仏比較」
成果報告のシンポジウムは「共催支援事業」参照
- ・ 中島智章グループ「パリの歴史的建造物の建築再生一日仏交流の視点から」
成果報告のシンポジウムは「共催支援事業」参照

② 日仏学者交換

日本フランス語フランス文学会 ウィリアム・マルクス招聘
成果報告の講演会は「共催支援事業」参照

(4) 日仏関連学会連絡協議会

- 1) 第1回連絡協議会は、7月12日（火）オンライン開催
- 2) 第2回連絡協議会は、12月13日（火）ホール開催

(5) 日仏文化・学術・教育団体等との共同事業・施設貸与

日仏会館・フランス国立日本研究所、日仏関連諸学会、アンスティチュ・フランセ日本等日仏文化・学術・教育団体や、日独協会等国際交流団体との共同事業のほか、それら団体が主催するシンポジウム・講演会等事業のためホール、会議室、研究室等を提供。

<共催支援事業>

- 1) **TMF 日仏メディア交流協会主催シンポジウム「フランス大統領選挙をめぐって」**（4月28日（木）オンライン）
講師：大野博人（TMF）、鈴木 仁（パリ日本文化会館館長）、沢村互（朝日新聞）
司会：磯村尚徳（TMF 会長）
*協力：日仏経済交流会、ルネサンス・フランセーズ日本代表部
（オンライン参加 90名）
- 2) **日本フランス語フランス文学会主催講演会「失われたギリシャ悲劇再発見」**（6月7日（火））
講師：ウィリアム・マルクス（コレージュ・ド・フランス）
司会：森本淳生（京都大学）
*協力：立教大学文学部フランス文学専修
（ホール参加 29名）
- 3) **日仏薬学会主催講演会「日仏薬学会創立 50 周年記念講演会 新型コロナウイルスと闘う—mRNA ワクチンと PCR 検査技術開発」**（6月26日（日））
講師：木下健司（（一社）生命科学教育研究所）、古市泰宏（（株）GF Mille）
座長：小椋康光（千葉大学）、市川 厚（日仏薬学会会長）
司会：安原真人（帝京大学）
*後援：在日フランス商工会議所、日仏経済交流会
（ホール参加 53名）

- 4) 日本リスクマネジメント学会主催講演会 「フランス映画に学ぶリスクマネジメントとその可能性」(7月22日(金))
 講師：亀井克之(関西大学)、杉原賢彦(目白大学)
 *共催：(公財)日仏会館、関西大学経済・政治研究所 関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班、科学研究費基盤研究(B)「被災後の中小企業経営者の健康問題と事業継続に関する日仏比較研究」、目白大学メディア学部
 *協力：ミネルヴァ書房
 (ホール参加 37名)
- 5) 日仏政治学会主催シンポジウム「2022年フランス大統領選挙・下院選挙後のフランス政治を展望する」(7月30日(土)ハイブリッド)
 講師：瀬藤澄彦(ルネサンス・フランセーズ日本代表部会長)、宮下雄一郎(法政大学)、三井美奈(産経新聞パリ支局長)
 討論者：片岡大右(慶應義塾大学)、片岡貞治(早稲田大学)、佐川泰弘(茨城大学)
 司会：小窪千早(静岡県立大学)
 (ホール参加 26名、オンライン参加 60名)
- 6) ゴンクール賞日本委員会主催シンポジウム「日本の学生が選ぶゴンクール賞 第1回を開催して—報告と検証」(9月11日(日)ハイブリッド)
 挨拶：フレデリック・ペニヤ(在日フランス大使館文化次席参事官)
 ビデオメッセージ：カミーユ・ロランス(アカデミー・ゴンクール)、マリー・ンディアイ(後見人)、小野正嗣(後見人)
 報告者：野崎 欽(放送大学)、澤田 直(立教大学)、小黒昌文(駒澤大学)、村石麻子(福岡大学)、深井陽介(東北大学)、新莊直大(東京大学大学院)、齊藤愛純(名古屋大学大学院)、大山賢太郎(京都大学大学院)、畠山 達(明治学院大学)、マリー=ノエル・ボーヴェー(明治学院大学)
 第一回受賞者の言葉(zoom参加)：クララ・デュポン=モノ
 司会：畠山 達、澤田 直
 閉会の言葉：シャルランリ・ブロッソー(フランス大使館文化参事官・アンスティチュ・フランセ日本代表)
 *助成：(公財)小西国際交流財団
 *後援：在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、日本フランス語フランス文学会、日本フランス語教育学会、(公財)フランス語教育振興協会、フランス著作権事務所、フランス図書
 (ホール参加 26名、オンライン参加 45名)
- 7) 日仏哲学会主催シンポジウム「ジャン=リュック・ナンシーの哲学—共同性、意味、世界」(9月17日(土)、18日(日)ハイブリッド)
 講師：合田正人(明治大学)、郷原佳以(東京大学)、市川 崇(慶應義塾大学)、柿並良佑(山形大学)、小林康夫(東京大学名誉教授)、ジェローム・レーブル(哲学者)、ボヤン・マンチュフ(新ブルガリア大学)、松葉祥一(同志社大学)、ジャン=クレ・マルタン(哲学者)、西谷 修(東京外国語大学名誉教授)、西山雄二(東京都立大学)、ジャコブ・ロゴザンスキー(ストラスブール大学)、澤田 直(立教大学)、渡名喜庸哲(立教大学)、鶴飼 哲(一橋大学名誉教授)
 *協力：東京都立大学、慶應義塾大学
 *後援：脱構築研究会
 (17日ホール参加 30名、オンライン参加 120名、18日ホール参加 30名、オンライン参加 120名)
- 8) TMF 日仏メディア交流協会主催映画鑑賞および鼎談「Le Japon—山田洋次が見た日本」(9月27日(火)ハイブリッド)

講師：クロード・ルブラン（ジャーナリスト）、鈴木 仁（パリ日本文化会館館長）、大野博人（TMF 日仏メディア交流協会副会長）
司会：渡辺真美（（公財）日仏会館副理事長）
*協力：日仏経済交流会、ルネサンス・フランセーズ日本代表部
（ホール参加 26 名、オンライン参加 50 名）

- 9) 日仏教育学会主催「日仏教育学会創立 40 周年記念式典およびクリストフ・シャルル講演会」（10 月 29 日（土））
記念式典 司会：大川 洋（日仏教育学会）
開会の辞：ベルナール・トマン（日仏会館・フランス国立日本研究所所長）
挨拶・祝辞：フィリップ・セトン（駐日フランス大使）、中島厚志（（公財）日仏会館理事長）他
記念講演会 講師：クリストフ・シャルル（パリ第一大学パンテオン・ソルボンヌ名誉教授）
司会：前田更子（日仏教育学会）
*共催：（公財）日仏会館、日仏会館・フランス国立日本研究所、日仏歴史学会、日仏社会学会、日仏薬学会
*後援：在日フランス大使館
（ホール参加 56 名）
- 10) 中小企業の事業承継 日仏シンポジウム実行委員会主催「中小企業・ファミリー企業の事業承継 日仏シンポジウム」（11 月 3 日（木）ハイブリッド）
講師：ベランジェール・デシャン（グルノーブル大学）、オードリー・ミソニエ（モンペリエ・ビジネススクール）、亀井克之（関西大学）、村上義昭（大阪商業大学）、津島晃一（事業承継 Lab.）
*共催：（公財）日仏会館、科学研究費基盤研究（B）「被災後の中小企業経営者の健康問題と事業継続に関する日仏比較研究」、関西大学経済・政治研究所関西ファミリー・ビジネスの BCM と東アジア研究班、堺市と関西大学の地域連携事業「堺市ファミリービジネス・外食企業の事業継続と事業継承」
*助成：笹川日仏財団
*後援：ファミリービジネス学会、日本リスクマネジメント学会
（ホール参加 24 名、オンライン参加 34 名）
- 11) 日仏会館・フランス国立日本研究所、フロラン・ゲナール招聘委員会主催「民主主義は普遍的な政治モデルか？—日仏の政治哲学者の討議」（1 月 12 日（木））
講師：フロラン・ゲナール（パリ高等師範学校）
討論者：宇野重規（東京大学社会科学研究所）
司会：ベルナール・トマン（日仏会館・フランス国立日本研究所）
（ホール参加 85 名）
- 12) フランス語婦人会主催 « Les dernières chamanes du Japon. Rencontre avec l'invisible au pays du soleil levant »（「日本の最後のシャーマン—見えないものとの出会い」）（1 月 26 日（木））
講師：ミュリエル・ジョリヴェ（上智大学名誉教授）
司会：渡辺真美（フランス語婦人会）、アニエス・マツザワ（フランス語婦人会）
（ホール参加 60 名）
- 13) 中央大学人文科学研究所・研究チーム「幻想的存在の東西」主催「女神がとる異類の身体—メリュージュとトヨタマヒメ」（2 月 24 日（金））
講師：フィリップ・ヴァルテル（グルノーブル＝アルプ大学名誉教授）
司会・逐次通訳：渡邊浩司（中央大学）

(ホール参加 40 名)

- 14) 日仏知的交流「日仏対話週間」実行委員会主催「第 8 回 日仏対話週間：グローバル・プレイヤーとしての日仏協力「マクロン政権下のフランス——ウクライナ戦争下の内外政策」(3月1日(水))
挨拶：松浦晃一郎(元駐仏大使、元 UNESCO 事務局長)、渡辺 繭((公財)日本国際フォーラム理事長)
パネリスト：パスカル・ペリノー(パリ政治学院名誉教授)、ドミニック・レニエ(政治刷新研究所 Fondapol 所長)、パスカル・ボニファス(国際戦略研究所所長)、中島厚志((公財)日仏会館理事長)、渡邊啓貴(帝京大学、東京外国語大学名誉教授・UNESCO 国際歴史学委員会理事)
議事進行・司会：渡邊啓貴
*共催：(公財)日仏会館、(公財)日本国際フォーラム(JFIR)、科学研究費基盤研究(B)「変貌する大国間関係—グローバル市民社会の交錯とグローバルガバナンス」
(ホール参加 80 名)
- 15) 日仏女性研究学会主催「女性と表象—服飾、モード、ジェンダー(国際女性デーシンポジウム 2023)」(3月4日(土))
講師：クリスティーヌ・パール(アンジェ大学)
報告者：村田京子(大阪府立大学名誉教授)、吉川佳英子(愛知工業大学)、新實五穂(お茶の水女子大学)、丹羽晶子(お茶の水女子大学博士後期課程)、渡辺采香(お茶の水女子大学博士後期課程)
司会：中山信子(早稲田大学演劇博物館)、辻山ゆき子(共立女子大学)、西尾治子(日仏女性研究学会代表)
*共催：(公財)日仏会館、日仏会館・フランス国立日本研究所、科学研究費基盤研究(C)「ジェンダーの視点から見た 19 世紀フランス文学とモード、美術との相関性」(研究代表者：村田京子)(20K00501)
(ホール参加 80 名)
- 16) 日仏社会学会「コロナ禍における医療・看護系学生の闘い—フランスにおける国家と教育」(2023年3月18日(土)ハイブリッド)
報告者：荻野昌弘(関西学院大学)、大前敦巳(上越教育大学)、小田切祐詞(神奈川工科大学)、近藤理恵(岡山県立大学)、佐藤典子(千葉経済大学)、中村健太(関西学院大学大学院)、西田尚輝(東京大学大学院)、原岡蓉子(創価大学)
司会：北垣 徹(西南学院大学)、白鳥義彦(神戸大学)
*共催：(公財)日仏会館、日仏教育学会
(ホール参加 7 名、オンライン参加 12 名)
- 17) 宗教モニュメント研究会、日仏会館学術研究助成 2022 年度「パリの歴史的建造物の建築再生—日仏交流の視点から—」(研究代表者：中島智章)、日本カトリック大学・短期大学連盟カトリック学術奨励金 2022 年度「研究助成金」「遺産」から読み解くカトリックの信仰と空間に関する学術研究プラットフォームの構築」(研究代表者：坂野正則)、科学研究費 若手研究「近世フランスにおける「ナント王令体制」再考：建築・科学・軍事における宗教論的転回」(研究代表者：坂野正則)主催「フランスにおける歴史的建造物の建築再生」(3月30日(木)ハイブリッド(上智大学カトリック・イエズス会センター内チャペル)
報告者：坂野正則(上智大学)、中島智章(工学院大学)、坂田奈々絵(清泉女子大学)、嶋崎 礼(九州大学)
討論者：原 敬子(上智大学)、加藤耕一(東京大学)
司会：坂野正則

(会場(上智大学カトリック・イエズス会センター内チャペル)参加 15名、オンライン参加 29名)

<協力支援事業>

- 1) 日仏工業技術会、日本建築文化保存協会、在日フランス大使館科学技術部、アンスティチュ・フランセ関西主催シンポジウム「日仏都市会議 2022 小屋組—フランス・ベトナム・日本の歴史遺産の修理／再建をめぐって」(5月28日(土)ハイブリッド(関西日仏学館稲畑ホール))
講師：北河大次郎(文化庁)、フレデリック・エポー(CNRS)、長谷見雄二(早稲田大学名誉教授)、後藤 治(工学院大学理事長)、佐分利和宏(竹中工務店)、レ・ヴィン・アン(デュイ・タン大学)、ブノワ・ジャケ(フランス国立極東学院)、ニコラ・ジゼル(KOZ Architects) 青島啓太(追手門学院大学)
司会・進行：岡崎瑠美(芝浦工業大学)
開会の挨拶：岩田忠久(日仏工業技術会会長、東京大学大学院教授)、ジュール・イルマン(駐京都フランス総領事)
閉会の辞：三宅理一(日本建築文化保存協会理事、東京理科大学客員教授)
*協賛：(株)竹中工務店、(株)総合資格
*協力：フランス木材技術研究所、フランス国立木材技術産業大学、工学院大学、追手門学院大学、東京理科大学、(公財)日仏会館
*後援：林野庁、日本建築学会、HEAD 研究会
- 2) ルネサンス・フランセーズ日本代表部主催日仏エコノミストフォーラム「欧州にどう平和を再建できるか—フランス外交とポスト・ウクライナの展望」(6月1日(水)オンライン)
講師：小窪千早(静岡県立大学)、吉田 徹(同志社大学)
司会：瀬藤澄彦(ルネサンス・フランセーズ日本代表部会長)
*協力：(公財)日仏会館、日仏経済学会、日仏芸術文化交流協会、パリクラブ輝く会
*共催：日仏経済交流会・日仏エコノミストフォーラム(FEFJ)
*後援：日仏政治学会
- 3) 日仏会館・フランス国立日本研究所、科学研究費基盤研究(A)20H00003 主催シンポジウム「日仏におけるイスラームと政治的・社会的価値観」(7月8日(土)、9日(日)オンライン)
講師：安達智史(関西学院大学)、ラシッド・バンジーヌ(パリ第10大学)、フロランス・ベルゴ＝ブラクレ(CNRS)、藤原聖子(東京大学)、樋口直人(早稲田大学)、小村明子(立教大学)、カトリーヌ・メイユール＝ジャウアン(ソルボンヌ大学)、見原礼子(同志社大学)、店田廣文(早稲田大学名誉教授)、オリヴィエ・ロワ(欧州大学院)、ジャン＝ジャック・ティボン(INALCO)、ヴァランティエヌ・ジュベール(EPHE)
司会：伊達聖伸(東京大学)、増田一夫(東京大学名誉教授)
- 4) 日仏会館・フランス国立日本研究所主催シンポジウム「フランスと日本における産業遺産とその活用—歴史学的、社会的、経済的視点」(11月18日(金)、19日(土)ハイブリッド)
講師：朝鳥和美(田川市石炭産業歴史資料館)、伊東 孝(産業遺産情報センター)、稲塚広美(富岡市役所)、ピエール・ヴェルニユス(リヨン大学)、サイモン・エーデルブルッテ(ナンシー大学)、ジャン＝フランソワ・カロン(ロース・アン・ゴネル市長)、嶋崎尚子(早稲田大学)、カリーヌ・スプリモン(ルワルド鉱山博物館)、武田晴人(公益財団法人三井文庫館長)、クリスチャン・ポラック(フランス社会科学高等研究院/日仏財団)、福本浩(田川市石炭産業歴史資料館)、マリオン・フォンテーヌ(パリ政治学院)、堀川三郎(法政大学)、セレナ・ボンコンパニ(フランス社会科学高等研究院)

司会：ベルナール・トマン（日仏会館・フランス国立日本研究所）、矢後和彦（早稲田大学）、ラファエル・ランギヨン（日仏会館・フランス国立日本研究所）

*助成：ANR eurasemploi

- 5) 日仏会館・フランス国立日本研究所主催「日本の報道関係者：最後の報道帝国への潜入調査―第 38 回渋沢・クローデル賞（フランス側）受賞記念講演会」（1 月 19 日（木））
講師：セザール・カステルビ（パリ・シテ大学）
*協賛：（公財）渋沢栄一記念財団、学校法人帝京大学
*協力：（公財）日仏会館、フランス国立社会科学高等研究院・日仏財団
*後援：在日フランス大使館、読売新聞社

- 6) 日仏会館・フランス国立日本研究所主催「満州における神道の軌跡と皇族の系譜―第 38 回渋沢・クローデル賞（フランス側）受賞記念講演会」（3 月 6 日（月））
講師：エドゥアール・レリッソン（フランス国立東洋言語文化学院）
*協賛：（公財）渋沢栄一記念財団、学校法人帝京大学
*協力：（公財）日仏会館、フランス国立社会科学高等研究院・日仏財団
*後援：在日フランス大使館、読売新聞社

- 7) 科学研究費基盤研究（B）『『集合意識』から『情動の社会学』へ―デュルケーム社会学の現代的展開』（22H00904）、日仏社会学会、デュルケーム/デュルケーム学派研究会主催「モダニティを問い直す―デュルケーム、ブルデュー、さらにその先へ」（3 月 10 日（金））
報告者：ジルダ・サルモン（国立科学研究センター・社会科学高等研究院）、川本彩花（日本学術振興会特別研究員・滋賀大学）、山田陽子（大阪大学）
司会：白鳥義彦（神戸大学）
*共催：日仏会館・フランス国立日本研究所

4. その他事業

(1) 地方日仏協会との交流

例年、近隣の日仏協会との交流懇親旅行を開催しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度は開催なし。

(2) 親睦会

例年、1 月下旬に来賓として駐日フランス大使を迎え、日仏会館会員や各地日仏協会やフランス系諸団体から参加者を得た親睦会を開催しているが、コロナウイルスの影響で、今年度は開催なし

5. 収益事業：公益目的事業に資する財源確保のため、会館内スペースの賃貸及び公益目的使用時間外の会館施設の貸与事業

店舗スペース賃貸並びに公益目的使用時間外のホール・会議室・ギャラリー、駐車場スペースを貸与。

6. 管理業務

(1) 会議の開催

・理事会

① 2022 年 5 月 25 日（水）

2021 年度事業報告・収支決算承認の件
任期満了に伴う理事・監事・評議員推薦の件
任期満了に伴う諮問委員推薦の件
顧問推薦の件
評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の件
業務執行理事の職務執行報告

- ② 2022年6月10日(金)
 - 理事長選任の件
 - 副理事長選任の件
 - 常務理事選任の件
 - 常勤役員選任の件
 - 委員会委員長選任の件
- ③ 2022年10月28日(金)
 - 2022年度上期事業・予算執行状況報告の件
 - 業務執行理事の職務執行報告
- ④ 2023年2月22日(水)
 - 2023年度事業計画・収支予算の件
 - 評議員推薦の件
 - 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件
 - 業務執行理事の職務執行報告
- ・評議員会
 - ① 2022年6月10日(金)
 - 2021年度事業報告・収支決算の件
 - 任期満了に伴う理事・監事・評議員 選任の件
 - 任期満了に伴う諮問委員選任の件
 - 顧問選任の件
 - 日仏会館・フランス国立日本研究所 2021年度事業報告・収支決算報告の件
 - ② 2023年3月10日(金)
 - 2023年度事業計画・収支予算の件
 - 評議員選任の件
 - 日仏会館・フランス国立日本研究所 2023年度事業計画・収支予算の件
- ・常務役員会(月例)
- ・委員会
 - 学術・文化事業委員会(月例)、渋沢・クロードル賞委員会(随時)、総務委員会(月例)

(2) 役員等名簿(2023年3月31日現在、敬称略、abc順)

総裁	常陸宮殿下
名誉総裁	駐日フランス大使 Philippe SETTON
名誉理事長	福井憲彦、樋口陽一、松浦晃一郎
顧問	三浦信孝、柳井 準
理事長	中島厚志
副理事長	中地義和、渡辺真美
常務理事	川出良枝、河口淳子、三浦 篤、西 昭宏、澤田 直、山元 一
理事	林 玲子、林 洋子、平野千果子、中江剛介、大村敦志、大野博人、 Christian POLAK、杉山直人、塚本昌則、山本博幸、吉澤正浩
監事	五十嵐敬喜、野口真有美
評議員	Charles-Henri BROSSEAU、飯村 豊、Muriel JOLIVET、金澤千鶴子、 北島元治、北村一郎、古石篤子、西川 恵、西村篤子、岡眞理子、岡本和夫、 塩川徹也、杉浦 勉、滝澤 正、辻村みよ子、渡邊啓貴、横山悠喜、吉井篤志 吉岡知哉
諮問委員	Jean BARTHELEMY、Hubert De MESTIER Du BOURG、 Laurent DUBOIS、稲畑勝太郎、磯村尚徳、北原 隆、 Michel LACHAUSSÉE、Norbert LEURET、小倉和夫、 老川祥一、大井 孝、為永清嗣、Bernard THOMANN 梅本和義

(3) 会員数 (2023年3月31日現在) *前期末:2022年3月31日

種 類	前期末(a)	入会者	退会者	当期末(b)	差異(b)-(a)
通常会員	668	23	69	622	△46
家族会員	51	2	8	45	△6
学生会員	8	3	4	7	△1
終身会員	84	4	5	83	△1
(個人会員計)	811	32	86	757	△54
賛助会員	77	3	7	73	△4
合計	888	35	93	830	△58

学生オンラインメンバーシップ登録数 11名 (2023年3月31日現在)

以上